

工事店様用

YEL4GB YEL4GB-HSET-01

余剰買取向け

 **エコめがね**

10年プラン 4G 回線 住宅用セット

for オムロン株式会社製・長州産業株式会社製 蓄電システム
[太陽光発電 遠隔モニタリングサービス]

施工・取扱説明書 Ver1.5

この施工・取扱説明書は、以下の商品の施工・取扱方法について説明しています。
「ちくでんエコめがね 10年プラン 4G 回線住宅用セット」(以下、本製品と記す)

はじめにこの施工・取扱説明書をよくお読みになり、十分ご理解のうえ正しく安全にご使用ください。

- 施工に際して記載内容を守ってください。
- 施工は電気の知識を有する専門家が行ってください。

【ご注意】

本書は、オムロン株式会社製蓄電システムまたは長州産業株式会社製蓄電システムを利用している設備を前提としております。ただし、以下の場合は本製品をご利用いただけません。

- オムロン株式会社製「住・産共用フレキシブル蓄電システム」(以下、フレキシブル蓄電システムと記す)を利用している設備で、発電量計測用スマートメータ(以下、子メータと記す)が未設置の場合
- 出力制御対象の設備の場合




目次

安全上の注意/安全上の要点/使用上の注意	3
本製品について	7
1 機器の名称と役割	7
2 仕様	9
システム構成、施工・設定の流れ	10
1 システム構成図	10
2 施工・設定の流れ	12
施工手順	13
1 部材・機器の準備	13
2 EL センサの設置	15
3 子メータの設置・設定（フレキシブル蓄電システムの場合のみ）	17
4 各機器の配線	19
5 EL センサの設定	20
保守	33
1 EL センサを交換する	33
2 Wi-Fi ルータを交換する	34
3 蓄電池を交換する	35
取扱方法	36
1 疎通確認方法	36
その他	38
1 トラブルシューティング	38
2 メニュー遷移	45

安全上の注意/安全上の要点/使用上の注意





安全上の注意/安全上の要点/使用上の注意





誤った取扱をしたときに生じる危害や損害を、次のように区分して説明しています。






 危険	正しい扱いをしなければ、この危険のために、時に死亡に至ったり、重傷を負う場合も起こり得ます。また、同様に深刻な物的損害*を受けるおそれがあります。
 警告	正しい取扱いをしなければ、この危険のために、軽傷・中程度の傷害を負ったり、万一の場合には重傷や死亡に至るおそれがあります。
 注意	正しい取扱いをしなければ、この危険のために、ときに軽傷・中程度の傷害を負ったり、あるいは物的損害*を受けるおそれがあります。

* 物的損害とは、家屋、家財および家畜、ペットに関わる拡大損害を示します。

お守りいただく内容を次の図記号で説明します。












	<ul style="list-style-type: none"> ● 一般的な禁止 特定しない一般的な禁止の通告
	<ul style="list-style-type: none"> ● 分解禁止 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止の通告
	<ul style="list-style-type: none"> ● 一般的な指示 特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示
	<ul style="list-style-type: none"> ● 感電注意 特定の条件において、感電の可能性を注意する通告

 危険	
	周囲に発火性、腐食性のガスがある場所、火の近くなどの環境下では使用しないでください。 爆発、火災、感電のおそれがあります。
	本装置の隙間などから、異物(金属片、可燃物、液体等)が内部に入らないようにしてください。 火災や感電のおそれがあります。
	既定の電源電圧でご使用ください。 規定外の電源電圧を供給されますと火災や感電の原因となります。

 警告	
	本製品は、幼児の手の届かないところに設置してください。 誤飲や感電による傷害が起こる可能性があります。
	本製品に発火物を近づけたり、可燃性ガスを含むスプレーを吹き付けたりしないでください。 発煙・発火・火災・爆発のおそれがあります。
	本製品にぬれた手で触れないでください。 感電による傷害や機器故障のおそれがあります。
	本製品を分解・改造しないでください。 感電による傷害や火災が起こるおそれがあります。電波法でも禁止されています。

安全上の注意/安全上の要点/使用上の注意

注意

	電気工事を伴う設置の際は、電気設備技術基準・内線規程に従い、第1種または第2種電気工事士が行ってください。 感電・火災のおそれがあります。
	強酸、有機溶剤、火の近くなどの環境下では使用しないでください。 故障の原因となるおそれがあります。
	本製品を次のような場所には設置しないでください。 ● 野外や軒下等の雨水があたる場所 ● 洗面所、脱衣所、作業場、調理場などの湯気の当たる場所、もしくは湿度が15 ~ 85%RH 以外のところ 焼損のおそれがあります
	本製品を振動、衝撃の影響が大きいところや、落下するおそれがあるところに設置しないでください。 落下により怪我をするおそれがあります。
	本装置を、湿気の多い場所(洗面所、脱衣所、作業場、調理場など)に設置・保管はしないでください。 また、装置内部に水や液状のもの、導電性の塵が入った状態で使用すると非常に危険です。 焼損のおそれがあります。
	● 本装置の清掃は、乾燥した柔らかい布で行ってください。 ● 有機溶剤(シンナー、ベンジン等)など揮発性のものや、強アルカリ性物質、および強酸性物質や薬品を使用しないでください。 機器の変色や故障のおそれがあります。
	極端な高温下や低温下、または温度変化の激しい場所での使用および保管はしないでください。 例 ・ 直射日光の当たる場所 ・ 熱源の近く
	本装置を振動、衝撃の影響が大きいところや、落下するおそれがあるところに設置・保管(輸送を含む)しないでください。 落下により怪我をしたり、機器故障のおそれがあります。
	強い磁界、電波を発生する機器の近くでの使用・保管は避けてください。 まれに誤作動(停止、リブート)や部品の故障を招くおそれがあります。
	本装置内のコネクタ等には触らないでください。 コネクタの接合部に無理な力がかかると機器の破損や接続不良の原因となります。
	本装置の上に物をのせたり、ぶら下げるなど無理な力を加えたりしないでください。 落下により怪我をしたり、機器が故障したりするおそれがあります

安全上の注意/安全上の要点/使用上の注意

安全上の要点

以下に示す項目は、安全を確保する上で必要なことですので、必ずお守りください。

- 本製品を廃棄する場合は、地方自治体の条例または規則等に従ってください。
- 本製品に発煙、発熱、その他の異常を感じた場合は、本製品の電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
- 本製品を押入や階段下など、通風を妨げるような場所に設置しないでください。
- 振動、衝撃の影響が大きいところには保管（輸送を含む）しないでください。

使用上の注意

- 本製品は、NTTドコモ LTEサービスエリア内でご使用ください。
LTEサービスエリアは以下のサイトでご確認いただけます。
<https://www.nttdocomo.co.jp/support/area/>
- 本製品は静電気によって故障、破損することがあります。本製品に触れる前に身近な金属に手を触れるなどして身体の静電気を取り除くようにしてください。
- 本製品が取得する数値の精度は、接続する機器の性能に依存します。接続する機器の製品仕様書を確認してください。
- 本装置を接続可能蓄電システム以外に接続しないでください。
対象外の蓄電システムを接続されますと機器故障のおそれがあります。
接続可能機種に関しては以下のサイトでご確認いただけます。
https://www.eco-megane.jp/chikuden_peripheral/
- ケーブルを強く引っ張らないでください。
- LANケーブル接続の際は、コネクタが正しく接続されていることを確認してください。
- 蓄電システムを複数台接続する場合は、同一シリーズのみで接続してください。
- 他機種のメンテナンスツールを使用しないでください。本製品が故障するおそれがあります。

安全上の注意/安全上の要点/使用上の注意

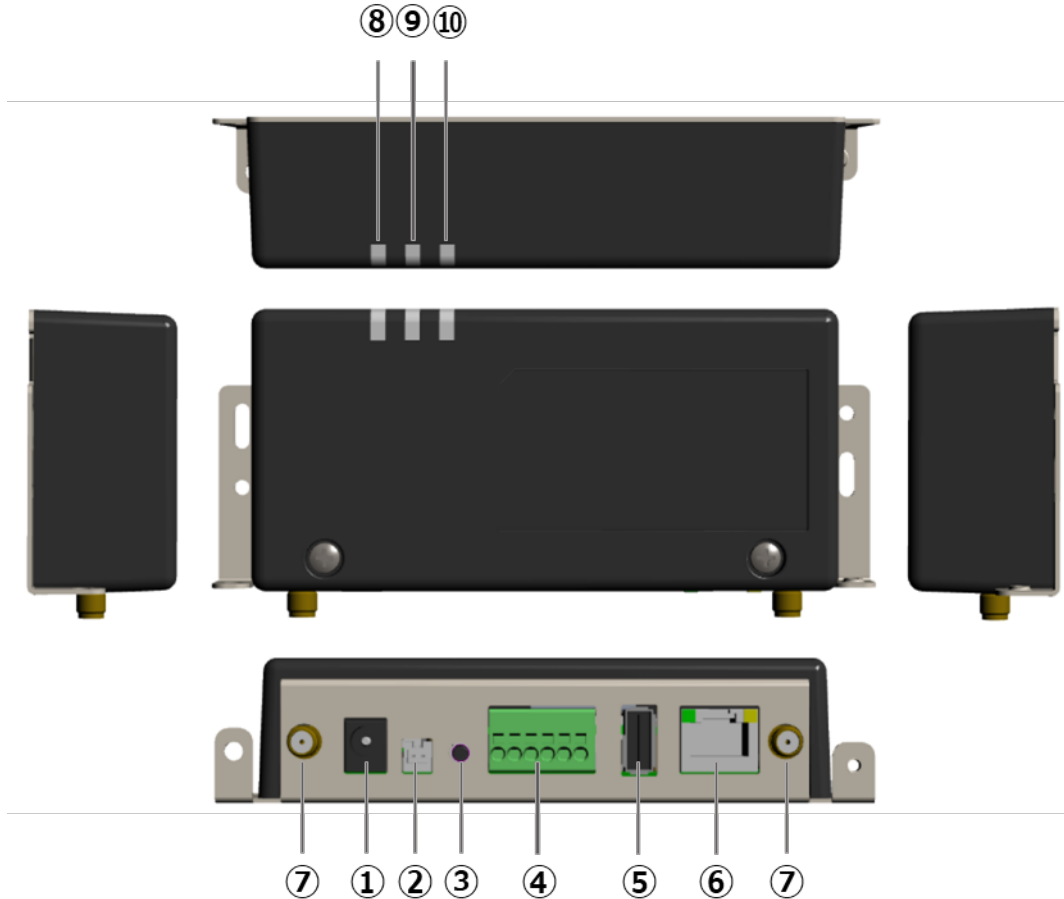
使用上の注意（つづき）

- 本製品を次のような場所に設置しないでください。
 - 直射日光の当たるところ
 - 虫や小動物が多いところ
 - 温度変化が激しいところ
 - 潮風にさらされるところ
 - 風雨にさらされるところ
 - 屋外や軒下等の雨水があたるところ
 - 水を浴びる、水の侵入があるところ
 - 氷結するところ
 - 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有毒ガスのあるところ
 - 浴室、脱衣所、台所等の水蒸気、油蒸気、結露のあるところ
 - 使用温度範囲以外になるところ
 - ELセンサ（VPPコントローラ）の使用温度範囲：-10 ~ +50 °C
 - Wi-Fiルータの使用温度範囲：0 ~ +40 °C
 - 使用湿度範囲以外になるところ
 - ELセンサ（VPPコントローラ）の使用湿度範囲：15 ~ 85%RH
 - Wi-Fiルータの使用湿度範囲：10 ~ 85%RH
 - 標高2000mを超えるところ
 - 塵埃（粉塵、砂塵、綿ホコリ、金属粉、オガ屑、ワラ屑等）の多いところ
 - 金属・金具類に覆われた場所、金属の壁への設置、金属の机の上、金属製品のそば、電子レンジおよび無線に影響を与える機器（電話機・FAX・PC・PC周辺機器・テレビ・IH製品）の近く
- 本製品を保管する場合は、以下の温湿度範囲で保管してください。
 - 保管温度範囲
ELセンサ（VPPコントローラ）の保管温度：+5 ~ +35°C
 - 保管湿度範囲
ELセンサ（VPPコントローラ）の保管湿度：70%RH以下

本製品について

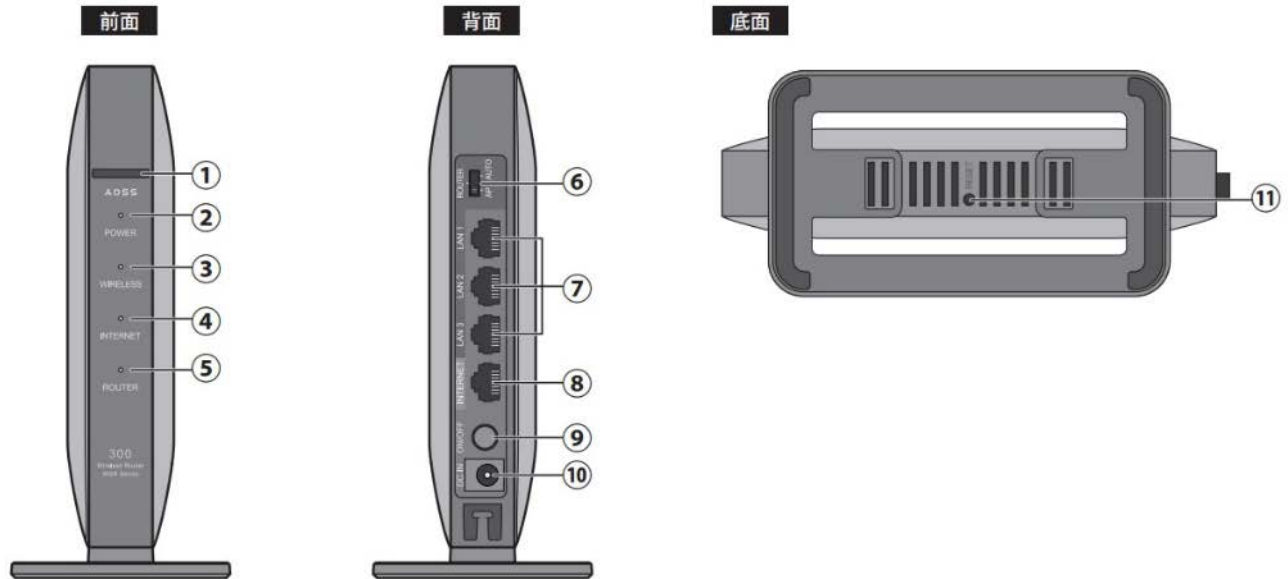
1 機器の名称と役割

■ EL センサ (VPP コントローラ) ※以下、EL センサと記す



No.	名称	役割	
①	電源コネクタ	AC アダプタを接続します。	
②	未使用	(使用しません)	
③	ユーザースイッチ	工場出荷状態にもどす際に押下します。	
④	シリアルポート	子メータと接続します。	
⑤	USB コネクタ	(使用しません)	
⑥	LAN コネクタ	LAN ケーブルを接続します。	
⑦	アンテナコネクタ	アンテナを接続します。	
⑧	起動ランプ	電源を投入すると点灯します。	詳細は「5- 1 1 EL センサのランプを確認する」(P.32)をご参照ください。
⑨	サーバ通信ランプ	サーバ通信時に点灯します。	
⑩	設備通信ランプ	蓄電システム・売買電計測スマートメータ (以下、スマートメータと記す) ・子メータ通信時に点灯します。	

■ Wi-Fi ルータ



No.	名称	役割
①	AOSS ボタン	Wi-Fiルータの電源を入れた状態で、ワイヤレスランプが点滅するまで（約1秒間）ボタンを押すと、Wi-FiルータがAOSS/WPS待ち受け状態になります。
②	POWER ランプ	点灯（緑）：電源がオンの状態、通常状態 点滅（緑）：システムが起動中 消灯：電源がオフの状態 点滅（橙）：エラー発生時
③	WIRELESS ランプ	点灯（緑）：無線LAN動作時/無線LAN通信時 2回点滅（緑）：AOSS/WPS待ち受け状態 連続点滅（緑）：AOSS/WPS失敗 消灯：無線LAN無効時
④	INTERNET ランプ	点灯（緑）：インターネット接続が可能な状態 消灯：インターネットに未接続の状態
⑤	ROUTER ランプ	点灯（緑）：ルータ（ルータ機能オン）として動作中 消灯：ブリッジ（ルータ機能オフ）として動作中
⑥	モードスイッチ ※	AUTO：ルータ機能のオン/オフを自動設定します。 ROUTER：ルータ（ルータ機能オン）として動作します。 AP：ブリッジ（ルータ機能オフ）として動作します。 ※ 出荷時は「AUTO」に設定しています。
⑦	LAN 端子	PCやハブなどを接続します。1000/100/10Mbpsに対応しています。
⑧	INTERNET 端子	（使用しません）
⑨	電源ボタン	Wi-Fiルータの電源のオン/オフを行うボタンです。電源をオフにしたときは、内部処理を行うため、実際に電源が切れるまで10秒程度かかります。
⑩	DC コネクタ	付属のACアダプタを接続します。
⑪	RESET ボタン	電源を入れた状態で、POWERランプが緑色に点滅するまで（約5秒間）ボタンを押し続けると、設定が出荷時の状態に戻ります。

2 仕様

■ EL センサ

項目	仕様
■ 型式	YEL4GB01
■ 使用周囲温度	-10 ～ +50℃
■ 保存温度	推奨値：+5 ～ +35℃
■ 使用周囲湿度	15～85%RH
■ 保存湿度	推奨値：70%RH 以下
■ 接続可能蓄電システム	接続可能な蓄電システムに関しては、以下のサイトよりご確認ください。 https://www.eco-megane.jp/chikuden_peripheral/
■ 接続可能蓄電システム数	最大接続数：6
■ 消費電力 [W]	6W 以下（突入時を除く）
■ 質量	240g
■ 外形寸法	幅 140.0×奥行 59.9×高さ 31.0(mm)

■ Wi-Fi ルータ

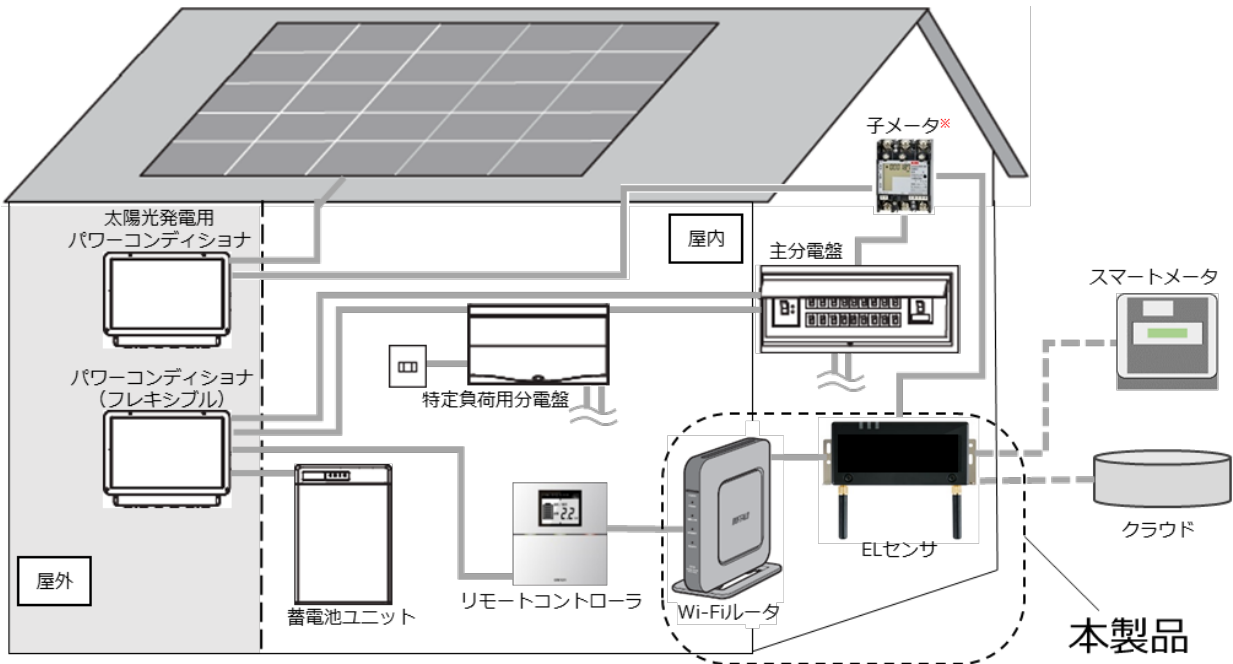
項目	仕様
■ 型式	WSR-300HP
■ 使用周囲温度	0 ～ +40 ℃（ただし結露または氷結しないこと）
■ 使用周囲湿度	相対湿度 10 ～ 85 %
■ 電源	単相 2 線 AC100V
■ 消費電力 [W]	最大 5.8W
■ 質量	約 232g
■ 外形寸法	幅 31 × 奥行 140 × 高さ 140(mm)

システム構成、施工・設定の流れ

1 システム構成図

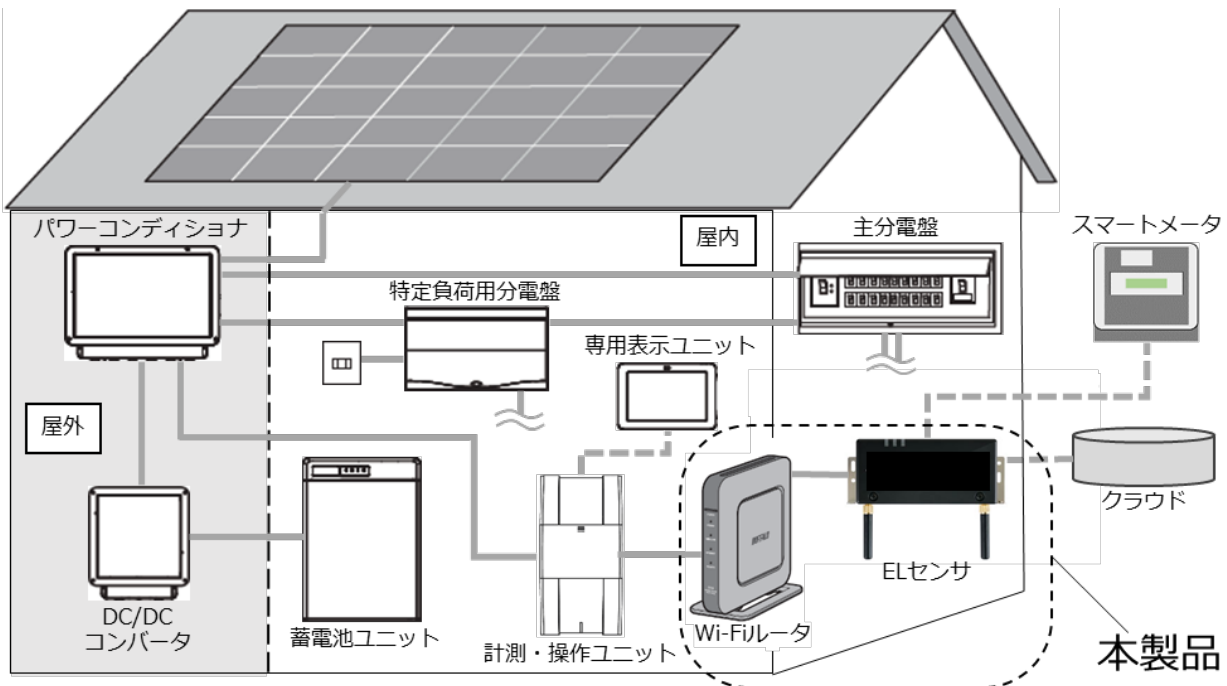
蓄電池システムにより、接続する機器が異なります。
設備に設置の蓄電システムを確認の上、正しく施工してください。

■ 接続図：フレキシブル蓄電システムの場合

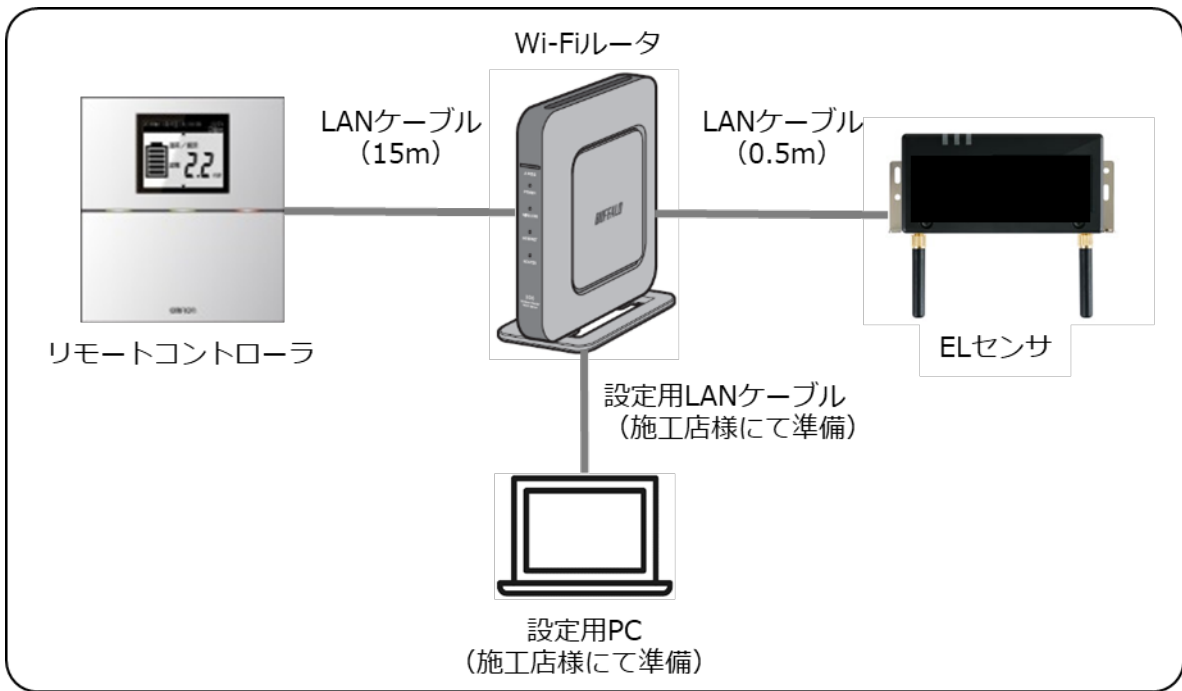


※ 子メータ（オプション品）：フレキシブル蓄電システムをご利用の設備で、太陽光発電用パワーコンディショナが併設されている場合は設置が必要です。

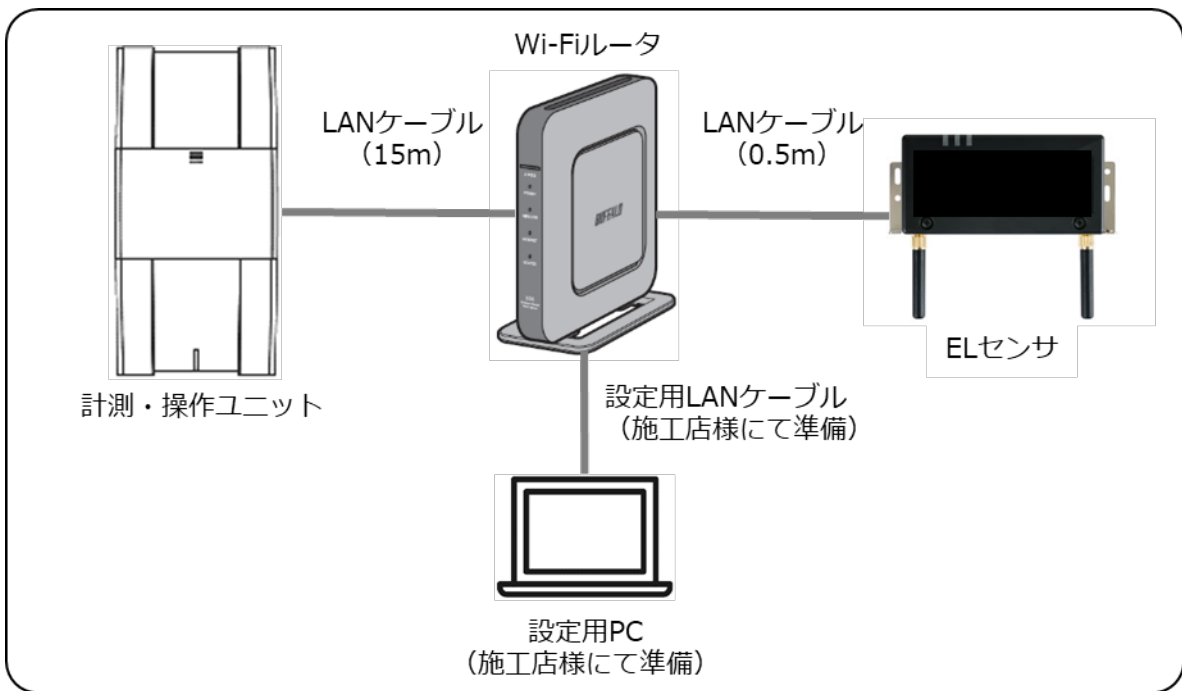
■ 接続図：ハイブリッド蓄電システムの場合



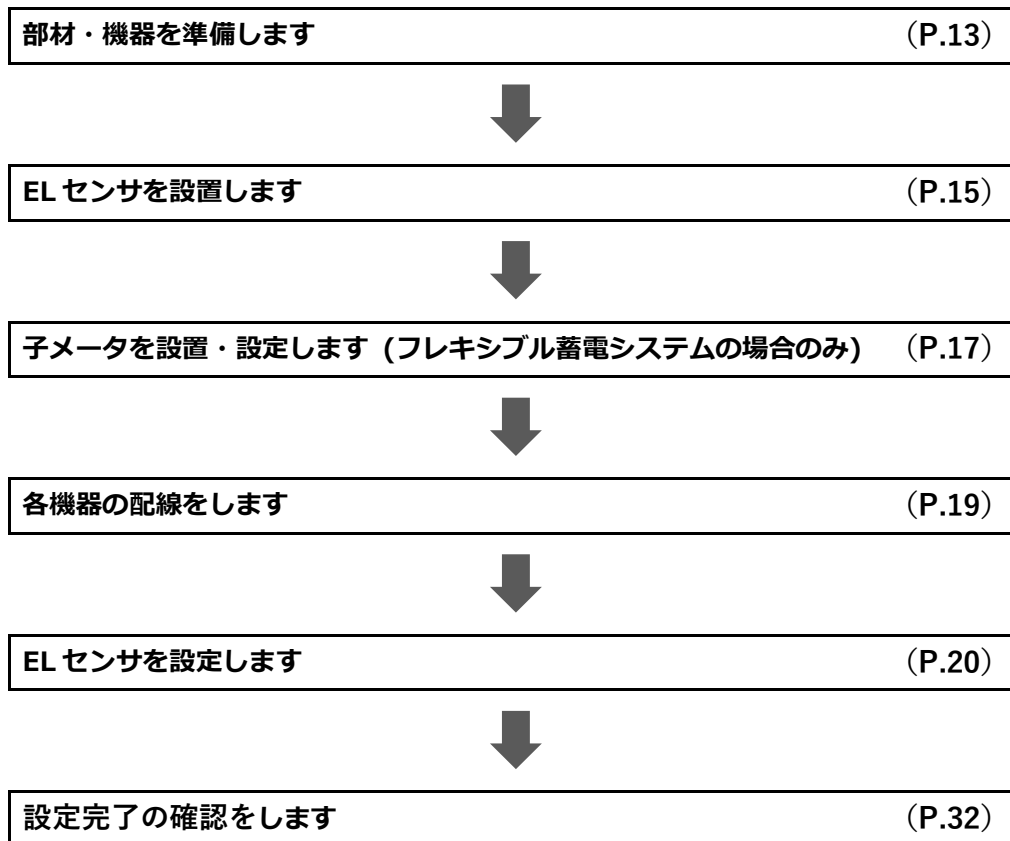
■ 施工概要図：フレキシブル蓄電システムの場合



■ 施工概要図：ハイブリッド蓄電システムの場合



2 施工・設定の流れ


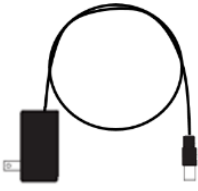


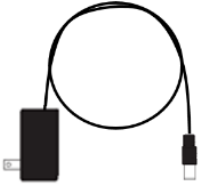

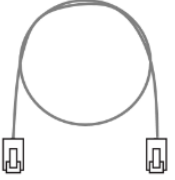



施工手順

1 部材・機器の準備


施工の前にすべて揃っていることを確認してください。

■ 商品一式

名称		形状	数量
EL センサ	本体		1 台
	電源アダプタ		1 本
	アンテナ		2 本
Wi-Fi ルータ	本体		1 台
	電源アダプタ		1 本
	LAN ケーブル (0.5m)		1 本
LAN ケーブル (15m)			1 本
ログインカード (名刺サイズ)			1 枚

■ オプション品一式

フレキシブル蓄電システムの場合に必要な機器です。

名称	形状	数量
子メータ（発電量計測用スマートメータ）		1台

■ 工事店様で準備する部材・機器

名称	数量
設定用 Windows PC （Google Chrome ブラウザと有線 LAN ポートが必要）	1台
設定用 LAN ケーブル	1本
通信ケーブル（FCPEV-Φ0.9-2P 相当）	1本
電力用ケーブル	1本
セラミックドライバ	1本

※

※ 印はフレキシブル蓄電システムをご利用の設備で、太陽光発電用パワーコンディショナが併設されている場合に必要な部材です。

■ 事前設置が必要な機器

- ・パワーコンディショナ
- ・リモートコントローラ または 計測・操作ユニット

本製品のご利用に必要な機器です。あらかじめご用意ください。

2 EL センサの設置

2-1 はじめに

EL センサに触れる前に、身近な金属に手を触れるなどして身体の静電気を取り除いてください。静電気によって、EL センサが故障や破損することがあります

2-2 EL センサ設置前の準備

(1) パワーコンディショナの HEMS 設定を有効化する

- ・フレキシブル蓄電システムの場合…………… HEMS 接続を[無効]→[有効]に変更する
- ・ハイブリッド蓄電システムの場合…………… HEMS 接続を[なし]→[あり]に変更する

設置や設定の方法は、蓄電システム、パワーコンディショナの施工マニュアルをご参照ください。

(2) パワーコンディショナのネットワーク設定を変更する

- ・フレキシブル蓄電システムの場合…………… [ネットワーク設定]を下記の値に変更する
- ・ハイブリッド蓄電システムの場合…………… [有線 LAN 設定]を下記の値に変更する

IP アドレス取得	手動
IP アドレス	192.168.11.30
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.11.1

(3) お客様にて AI 制御をご利用の場合のみ

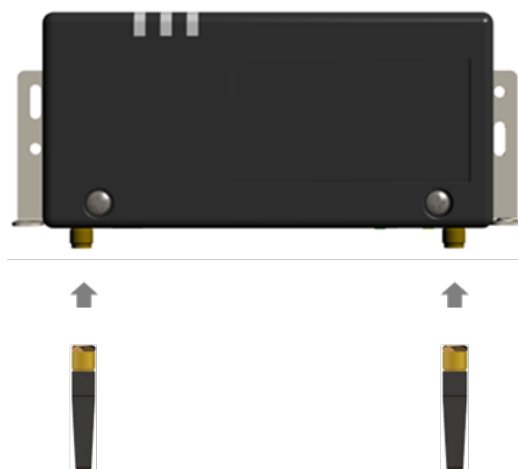
蓄電池動作モードを「グリーンモード」に設定してください。

設定を行わない場合、AI 制御をご利用頂けません。

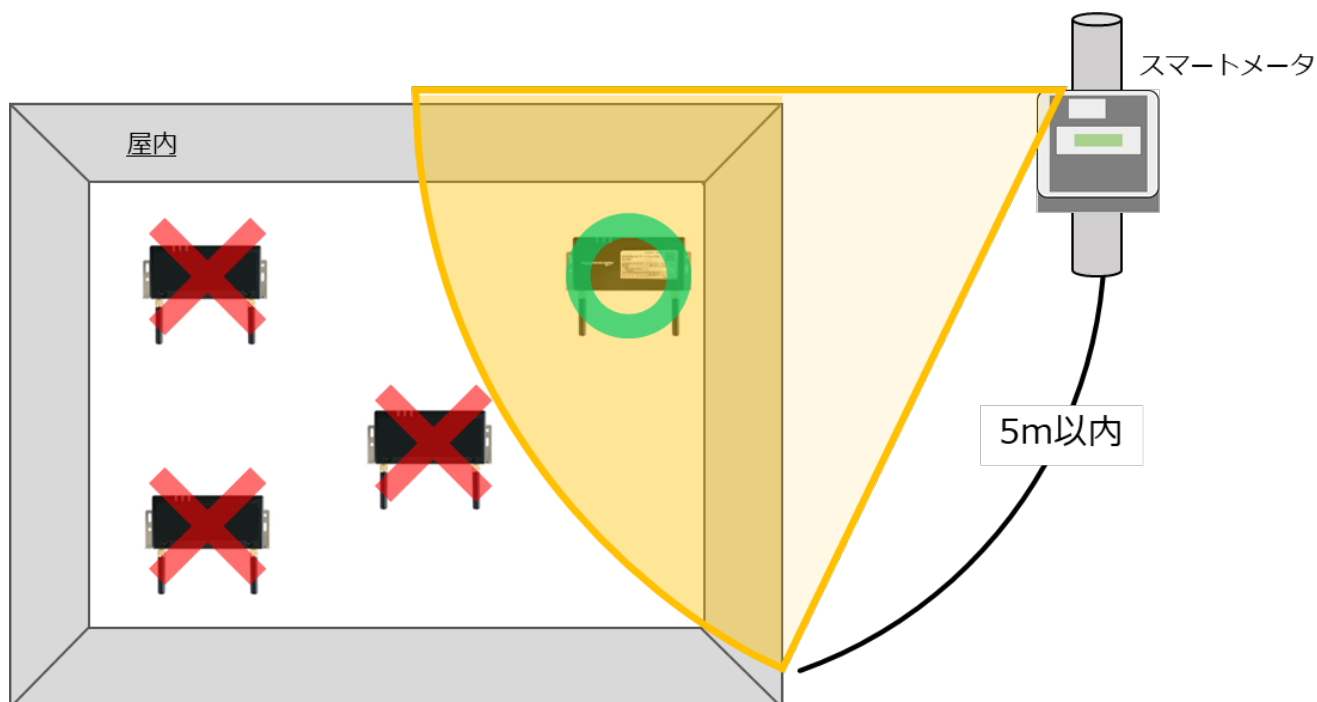
2 EL センサの設置

2-3 EL センサの設置

(1) EL センサにアンテナ2本を取り付ける



(2) スマートメータから5m以内（直線距離）の屋内にEL センサを設置する
5m以内に設置できない場合は、可能な限りスマートメータに近い場所に置いてください。



【ご注意】

- ・ EL センサをスマートメータの5m以内に設置できない場合は、「施工手順」の「5-10 EL センサの計測を開始する」(P.31)にて計測開始をした後に、EL センサの設定時に「取扱方法」の「1-3 Wi-SUN 電波強度の確認」(P.37)を参照して、Wi-SUN 電波強度が不足していないことを確認してください。
- ・ Wi-SUN 電波強度が不足している場合は計測データを正常に取得できません。

3 子メータの設置・設定（フレキシブル蓄電システムの場合のみ）

3-1 はじめに

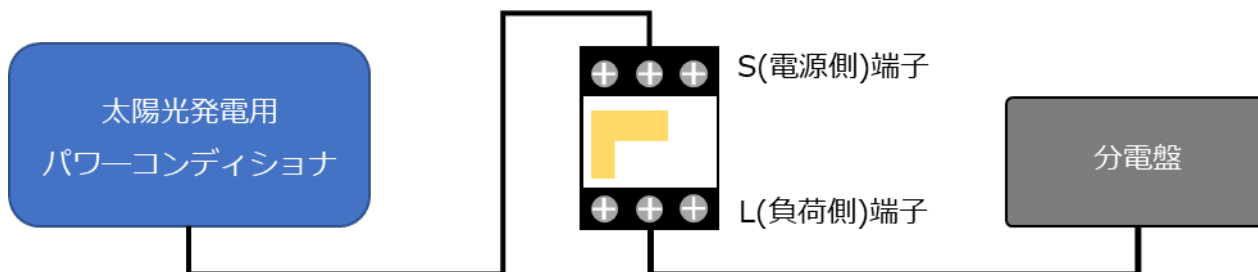
フレキシブル蓄電システムの設備で太陽光発電用パワーコンディショナが併設されている場合は、本製品をご利用の際に、併設されている太陽光発電用パワーコンディショナの出力に子メータを設置し、設定を行う必要があります。

以下の手順に従って、設置、設定を行ってください。

☞ハイブリッド蓄電システムをご利用の場合は、「4 各機器の配線」（P.19）に進んでください。

3-2 子メータを設置、配線する

■ 子メータの設置位置



- 子メータ設置位置：併設されている太陽光発電用パワーコンディショナと、分電盤の間
- 配線箇所：太陽光発電用パワーコンディショナの出力と、子メータのS(電源側)端子
分電盤と、子メータのL(負荷側)端子
- 使用配線ケーブル：電力用ケーブル

【ご注意】

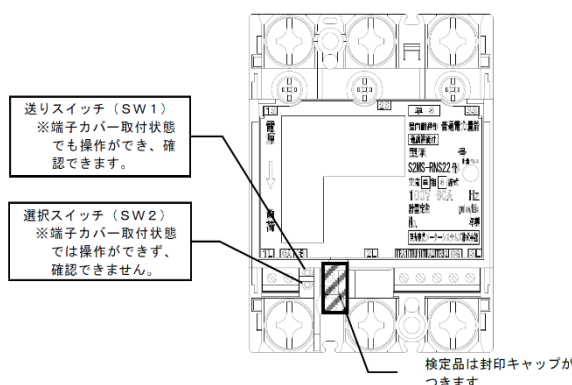
- ・作業の前に以下を行って、無通電状態であることを確認してください。
 - 分電盤のブレーカをオフにする
 - 太陽光発電用パワーコンディショナの運転を停止させる太陽光発電用パワーコンディショナの操作については付属の施工マニュアルを確認してください。
- ・子メータの接続先を取り間違えないようにご注意ください。
取り違えた場合、EL センサが正しく動作しません。

3 子メータの設置・設定（フレキシブル蓄電システムの場合のみ）

3-3 子メータの設定を変更する

以下の手順で子メータの設定作業を行ってください。

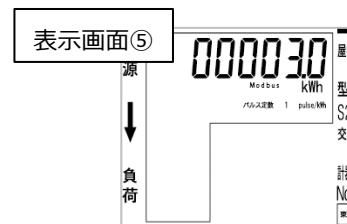
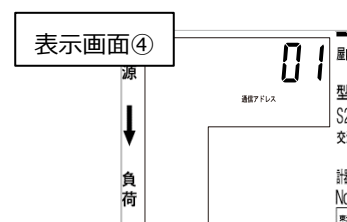
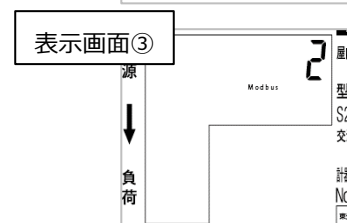
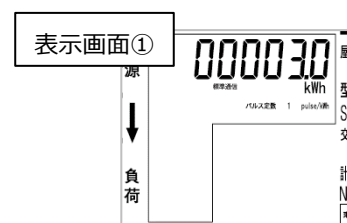
L(負荷側)端子付近にある設定スイッチを、セラミックドライバを用いて操作します。



■ 設定手順

- (1) 計量値が表示されていることを確認する (表示画面①)
表示されていない場合は、送りスイッチ(SW1)を1回押して計量値を表示させてください
- (2) 計量値が表示されている状態で、送りスイッチ(SW1)を5回押す(表示画面②)
- (3) 選択スイッチ(SW2)を1回押す(表示画面③)
- (4) 送りスイッチ(SW1)を1回押す(表示画面④)
 - 通信アドレスが“01”以外に設定されている場合は、選択スイッチ(SW2)を押下し“01”に設定して下さい
- (5) 送りスイッチ(SW1)を複数回押してください(表示画面⑤)
- (6) 計量値表示画面で、「Modbus」の表示がされていることを確認する(表示画面⑤)
画面が消えている場合は、送りスイッチ(SW1)を1回押して、計量値表示画面を表示させて確認してください

■ 子メータの表示画面



● スイッチ操作時の動作早見表 (赤字が設定値です)

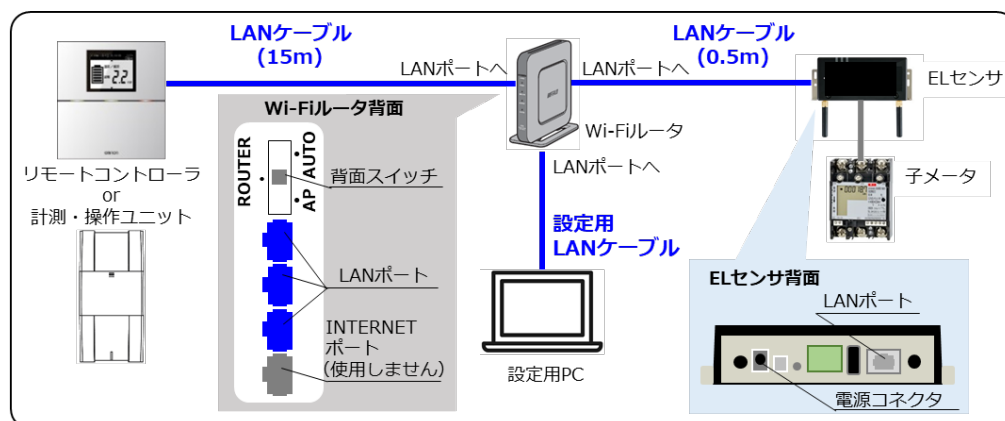
		選択スイッチ(SW2)押下*		
送りスイッチ (SW1)押下	計測値画面	計量値表示		
	設定・確認	表示方向	上方向 → 左方向 → 右方向	
		パルス定数設定	100 → 10 → 1 → 0.1 → 00	
		パルス幅(ms)	120 → 240 → 520 → 1020	
		通信速度(bps)	4800 → 9600 → 19200	
		通信プロトコル	標準通信 → Modbus 通信	
		通信アドレス	01 → 02 → 03 → ... → 30 → 31	
	瞬時電圧値確認	1側電圧値	1U □□□ 7	
		3側電圧値	3U □□□ 7	
	瞬時電流値確認	1側電流値	1A □□ 7	
3側電流値		3A- □□ 7		
計量値画面	計量値表示			

※表の一番右の値の時に選択スイッチを押下すると、一番左の値に戻ります。

4 各機器の配線

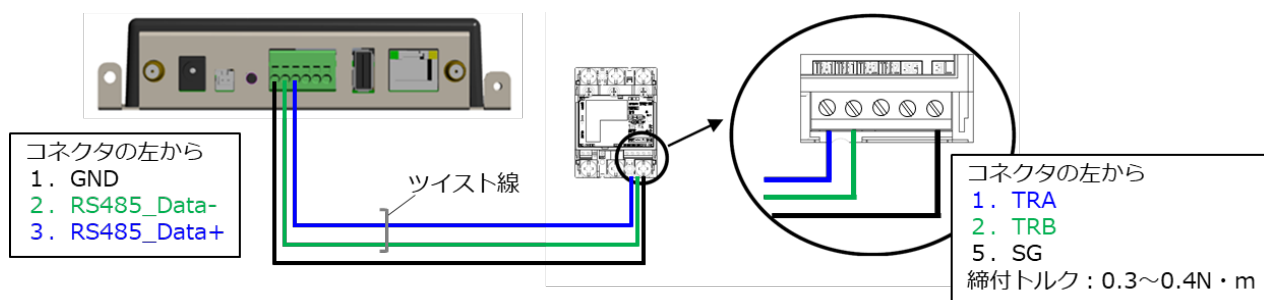
4 各機器の配線

■ 通信線の接続図



- (1) 蓄電システムのリモートコントローラまたは計測・操作ユニット^{*}と、Wi-Fi ルータを接続する
Wi-Fi ルータの LAN ポート側に LAN ケーブル (15m) で接続する。
^{*}蓄電システムによって名称が異なります。
・ リモートコントローラ：フレキシブル蓄電システムをご利用の場合
・ 計測・操作ユニット：ハイブリッド蓄電システムをご利用の場合
- (2) EL センサと Wi-Fi ルータ接続する
Wi-Fi ルータの LAN ポート側に付属の LAN ケーブル (0.5m) で接続する。
- (3) 設定用 PC と Wi-Fi ルータを接続する
Wi-Fi ルータの LAN ポート側に設定用 LAN ケーブルで接続する。
- (4) Wi-Fi ルータの背面スイッチを[ROUTER] に切り替える
- (5) (フレキシブル蓄電池システムをご利用の場合のみ)
EL センサと子メータを接続する (下図)
通信ケーブル (FCPEV-Φ0.9-2P 相当) を用いて接続する。
- (6) EL センサと Wi-Fi ルータに電源ケーブルを接続する
EL センサと Wi-Fi ルータを起動する。

■ EL センサと子メータの接続図



■ EL センサ - 子メータ 結線対応表

EL センサ		子メータ		備考
No.	端子名	No.	端子名	
1	GND	5	SG	
2	RS485_Data-	2	TRB	ツイスト線を使用してください
3	RS485_Data+	1	TRA	

5 EL センサの設定

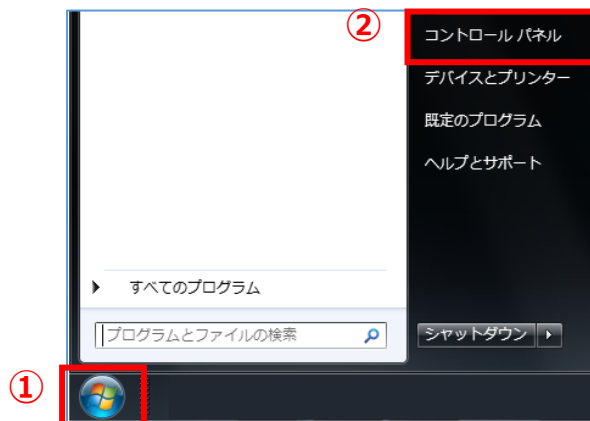
5-1 設定用 PC の IP アドレス設定

設定用 PC からルータと EL センサに接続するために、一時的に PC の IP アドレス設定を変更してください。
※この項目の設定は、Windows7 と Windows10 で手順が異なります。

[Windows 7 の場合]

(1) 「スタートボタン」をクリックする (右図①)

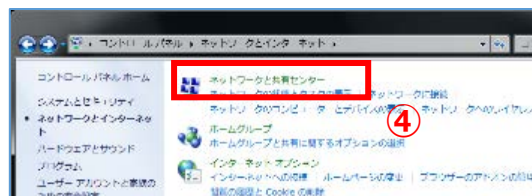
(2) 「コントロールパネル」をクリックする (右図②)



(3) 「ネットワークとインターネット」をクリックする (右図③)



(4) 「ネットワークと共有センター」をクリックする (右図④)



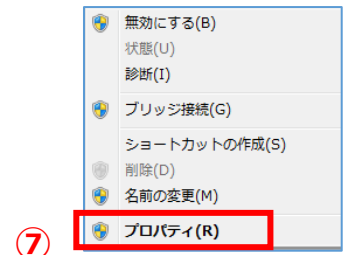
(5) 「アダプターの設定の変更」をクリックする (右図⑤)



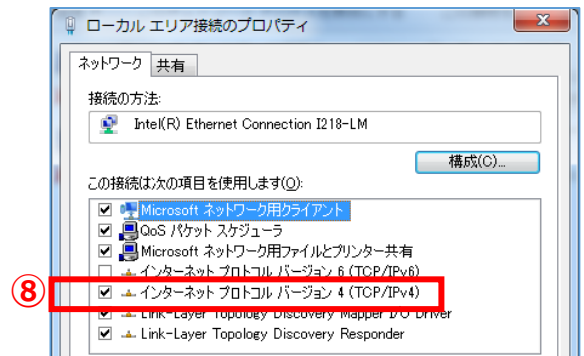
(6) 「ローカルエリア接続」を右クリックする (右図⑥)



(7) サブメニューより「プロパティ」をクリックする（右図⑦）



(8) 「インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)」をダブルクリックする（右図⑧）

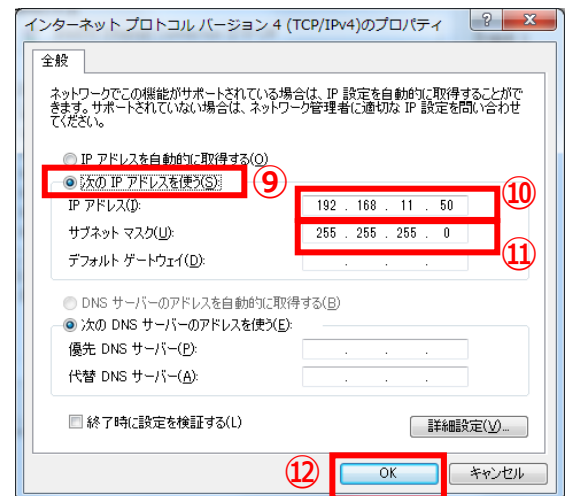


(9) 「次の IP アドレスを使う」をクリックして ON●にする（右図⑨）

(10) IP アドレスに「192.168.11.50」と入力する（右図⑩）

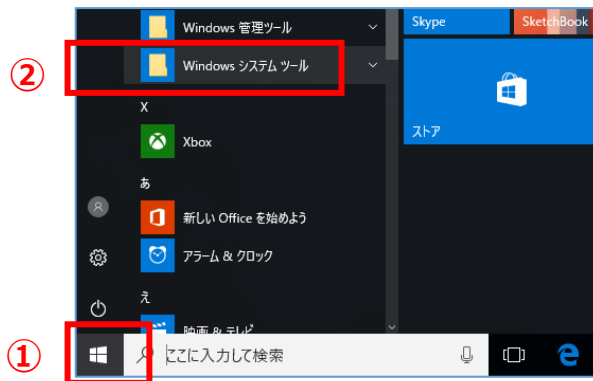
(11) サブネットマスクに「255.255.255.0」と入力する（右図⑪）

(12) 「OK」をクリックする（右図⑫）



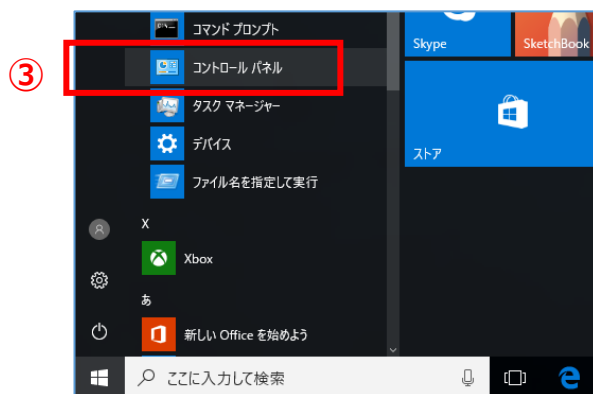
[Windows10 の場合]

(1) 「スタート」 ボタンをクリックする (右図①)

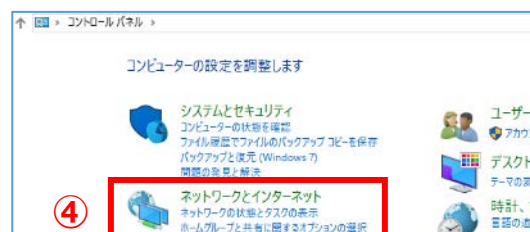


(2) 「Windows システムツール」 をクリックする (右図②)

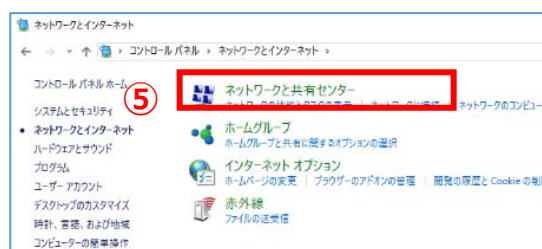
(3) 「コントロールパネル」 をクリックする (右図③)



(4) 「ネットワークとインターネット」 をクリックする (右図④)



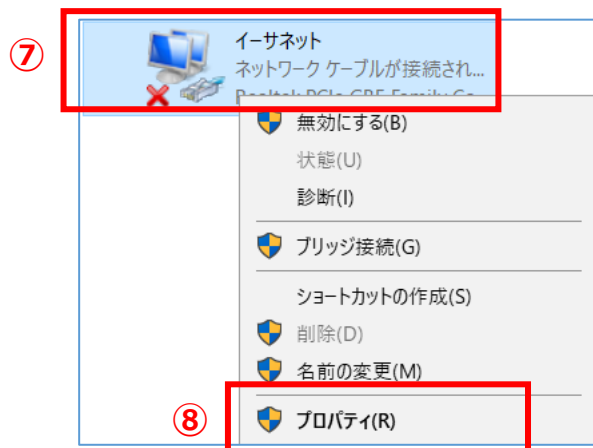
(5) 「ネットワークと共有センター」 をクリックする (右図⑤)



(6) 「アダプターの設定の変更」 をクリックする (右図⑥)

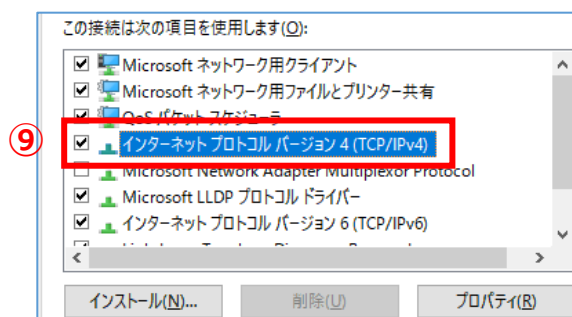


(7) 「イーサネット」を右クリックする (右図⑦)



(8) サブメニューより「プロパティ」をクリックする (右図⑧)

(9) 「インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)」をダブルクリックする (右図⑨)

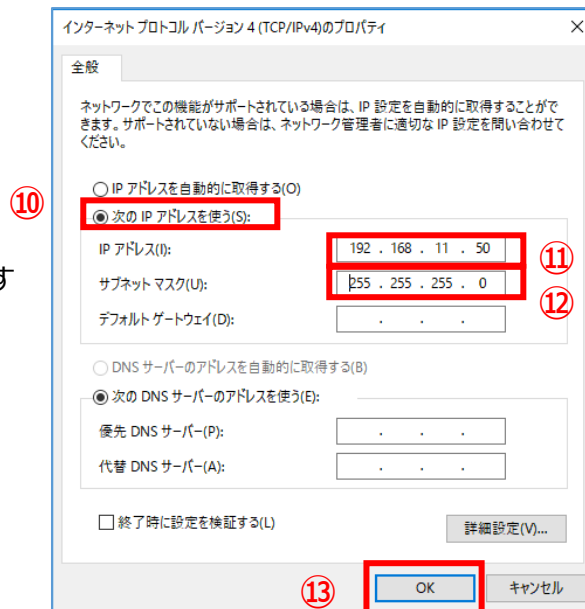


(10) 「次の IP アドレスを使う」をクリックして ON \odot にする (右図⑩)

(11) IP アドレスに「192.168.11.50」と入力する (右図⑪)

(12) サブネットマスクに「255.255.255.0」と入力する (右図⑫)

(13) 「OK」をクリックする (右図⑬)



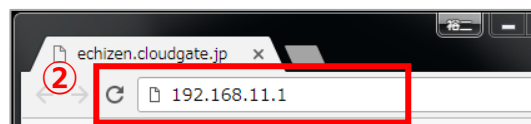
5-2 Wi-Fi ルータへログイン

Wi-Fi ルータの設定変更をするために、Wi-Fi ルータにログインをしてください。

- (1) Google Chrome ブラウザを起動する (右図①)



- (2) アドレスバーに「192.168.11.1」と入力する (右図②)

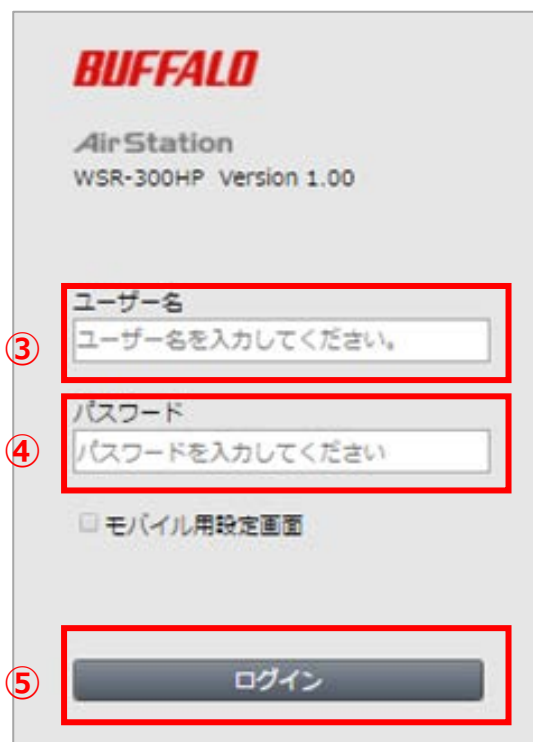


- (3) キーボードの「Enter」キーを押す

- (4) ユーザー名に「admin」と入力する (右図③)

- (5) パスワードに「password」と入力する (右図④)

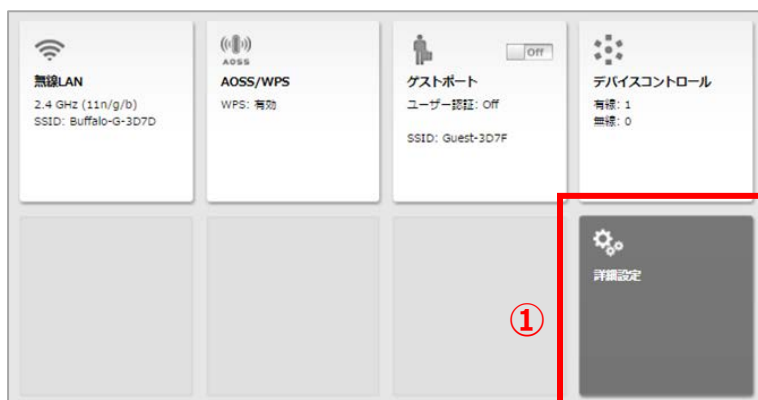
- (6) 「ログイン」をクリックする (右図⑤)



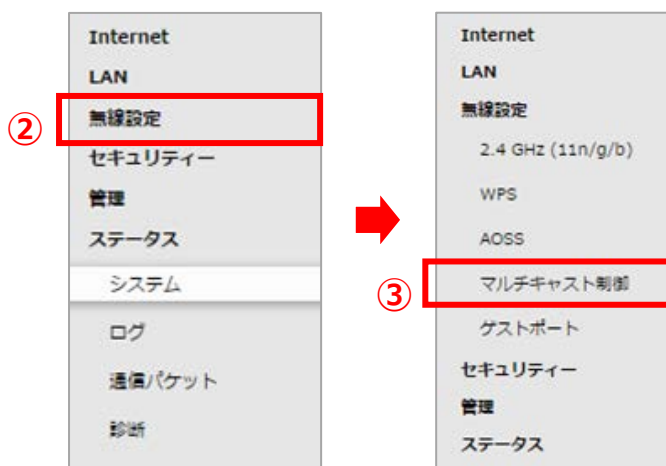
5-3 Snooping 機能の変更

Wi-Fi ルータの設定を変更してください。

- (1) 「詳細設定」をクリックする
(右図①)

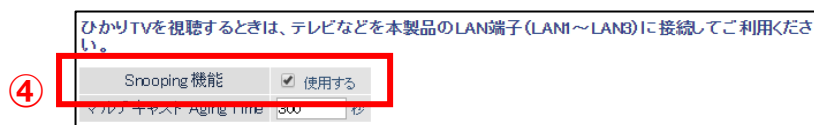


- (2) 「無線設定」をクリックする (右図②)



- (3) 「マルチキャスト制御」をクリックする
(右図③)

- (4) Snooping 機能の「使用する」のチェックを外す (下図④)



- (5) 画面右下の「設定」をクリックする

- (6) しばらく待ち、「使用する」のチェックボックスにチェックが入っていないことを確認する (右図⑤)



- (7) 画面右上のログアウトアイコンをクリックする
(右図⑥)



5-4 EL センサへログイン

EL センサの設定変更をするために、EL センサにログインをしてください。

- (1) Google Chrome ブラウザを起動する (右図①)
- (2) ブラウザのアドレスバーに「192.168.11.100」と入力する (右図②)
- (3) キーボードの「Enter」キーを押す
- (4) ユーザー名に「user」と入力する (右図③)
- (5) パスワードに「user」と入力する (右図④)
- (6) 「ログイン」をクリックする (右図⑤)



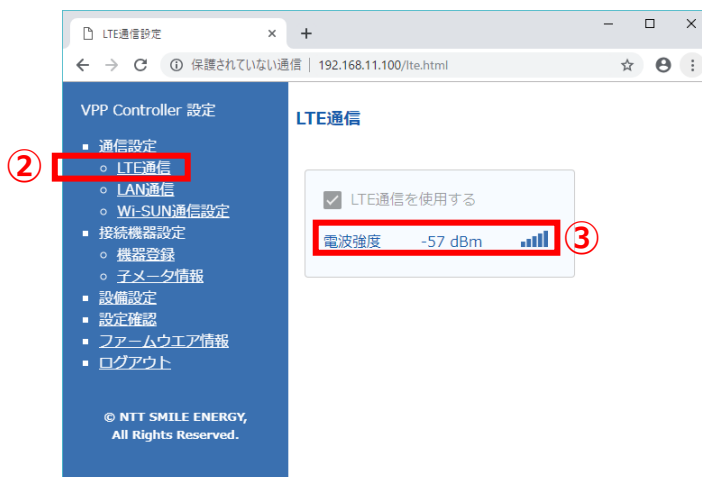
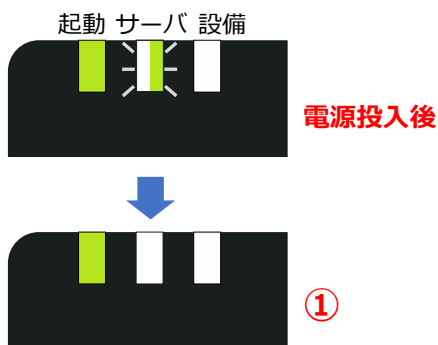
5-5 LTE 電波強度の確認

LTE 通信の電波強度を確認します。

- (1) EL センサのサーバ通信ランプが消灯していることを確認する (下図①)
- (2) 画面左メニューの「LTE 通信」(下図②) をクリックする
- (3) 「電波強度」の項目を確認する (下図③)

※ アンテナバーが 3 本以上表示されている状態 (電波強度-85dBm 以上) を推奨します。

アンテナバーが 2 本以下の場合は、3 本以上となるよう EL センサの設置場所を変更してください。



【ご注意】

- ・ 以前に EL センサを設定したことがある PC の場合、本紙の内容と、お手元の画面表示とが異なることがあります。その際は、「トラブルシューティング」の、「1-4 Google Chrome ブラウザの設定画面がマニュアルの内容と異なっている」(P.43) をご参照ください。

5-6 Wi-SUN 通信設定

施主様から入手した **B ルート ID** および **パスワード** を EL センサに設定します。

- (1) 「Wi-SUN 通信設定」をクリックする（下図①）
- (2) 「認証 ID」に **B ルート ID** を入力する（大文字と小文字の区別に注意）（下図②）
- (3) 「パスワード」に B ルートのパスワードを入力する（大文字と小文字の区別に注意）（下図③）
- (4) 「保存」をクリックする（下図④）



【ご注意】

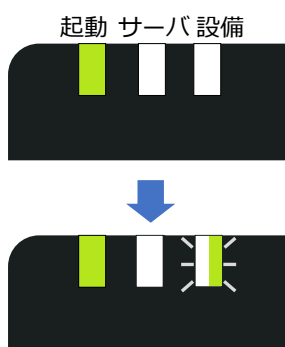
- ・施主様のスマートメータ設置が未完了などの理由で、B ルート ID やパスワードの情報が入手できない場合は、巻末の弊社問い合わせ先へ連絡してください。
- ・Wi-SUN 電波強度が不足している場合は、計測データを正常に取得できません。「施工手順」の「5-10 EL センサの計測を開始する」(P.31)にて計測開始をした後に、「取扱方法」の「1-3 Wi-SUN 電波強度の確認」(P.37)を参照して Wi-SUN 電波強度が不足していないことを確認してください。
- ・Wi-SUN 電波強度が充分であってもパスワードが誤っていると計測データを取得できません。大文字と小文字、数字のゼロ(0)と英文字のオー(o)の区別に注意してください。

5 EL センサの設定

5-7 蓄電池の検索

接続するパワーステーション S を EL センサに設定します。

- (1) 「機器登録」をクリックする（下図①）
- (2) 「システム構成」のプルダウンから設備の蓄電システム構成を選択する（下図②）
 - ・フレキシブル蓄電システムの場合……………「蓄電池」を選択
 - ・ハイブリッド蓄電システムの場合……………「ハイブリッド蓄電システム」を選択
- (3) 「蓄電池台数」のプルダウンから「1」を選択する（下図③）
- (4) 「機器検索」をクリックする（設備通信ランプが点滅する）（下図④）
- (5) 検索結果に表示されるパワーコンディショナ情報を確認する（下図⑤）
- (6) (ハイブリッド蓄電システムをご利用の方で、分岐計測用電流センサをご利用の場合) 機器検索で表示される種別「分電盤」にて、下部のチェックボックスにチェックを入れ、「計測データを取得する」に変更してください（下図⑥）
 - ※チェックを入れない場合、ちくでんエコめがねにて分岐計測データを利用頂く事が出来ません。フレキシブル蓄電池システムをご利用の場合や分岐計測用電流センサをご利用されない場合は次の手順 (7) に進んでください。
- (7) パワーコンディショナ情報の下の「設定完了」をクリックする（下図⑦）



操作前

①

⑤

【ご注意】

- ・手順 (4) の後に蓄電池の検索が終わらない (右図⑤のような画面が表示されない) 場合は、EL センサと Wi-Fi ルータの間、Wi-Fi ルータとリモコン設定器の間の LAN ケーブルがしっかりと挿入されているか確認してください。

5-8 子メータの設定 (フレキシブル蓄電システムご利用の場合のみ)

フレキシブル蓄電システムの設備で太陽光発電用パワーコンディショナが併設されている場合は、子メータの情報を EL センサに設定してください。

☞ ハイブリット蓄電システムをご利用の場合は、次ページの「5-9 設備設定の変更」に進んでください。

- (1) 「子メータ情報」をクリックする (下図①)
- (2) 「子メータ台数」のプルダウンから「1」を選択する (下図②)
- (3) 「ユニット No.」のプルダウンから「01」を選択する (下図③)
- (4) 「計測対象」のプルダウンにて「発電量」を選択する (下図④)
- (5) 「保存」をクリックする (下図⑤)



5 EL センサの設定

5-9 設備設定の変更

EL センサに、施主様のご契約アンペア数を登録します。

設定前に施主様のご契約アンペア数を確認してください。

- ・サービスブレーカが設置されている場合、**サービスブレーカのアンペア数**を確認してください。
- ・サービスブレーカがない場合で、ご契約アンペア数が不明である場合は、「**30**」で設定してください。

- (1) 「**設備設定**」をクリックする（下図①）
- (2) 「**契約電流**」の▲/▼ボタンを押して、施主様のご契約アンペア数を指定する（下図②）
- (3) 蓄電システムの構成に応じ、「**子メータの発電量を自給量計算に含む**」チェックボックスのチェック有/無を変更する（下図③）
 - ・フレキシブル蓄電システムの場合…………… チェックボックスの **チェックをつける**
（初期状態ではチェックがついた状態）
 - ・ハイブリッド蓄電システムの場合…………… チェックボックスの **チェックを外す**
- (4) 「**買電量を子メータの値からとらない**」、「**売電量を子メータの値からとらない**」の状態であることを確認する（下図④）
状態が異なる場合は、チェックボックスのチェックを外してください。
チェックが入っている場合、電力スマートメータの買電量/売電量情報を取得できません
- (5) 「**保存**」をクリックする（下図⑤）



5-10 EL センサの計測を開始する

これまでの手順で設定した内容を確認して、EL センサの計測を開始します。

- (1) 「設定確認」をクリックする（下図①）
- (2) 「設備設定」で登録した蓄電池システムの型式/製造番号が表示されていることを確認する（下図②）
- (3) 「Wi-SUN 通信設定」で登録した B ルート ID とパスワードが表示されていることを確認する（下図③）
- (4) 「子メータ情報」で登録した子メータの情報が表示されていることを確認する（下図④）
- (5) VPP 設定、エコめがね設定に「有効」または「無効」が表示されていることを確認する（下図⑤、⑥）
- (6) 「計測開始」をクリックする（下図⑦）
- (7) EL センサのランプ状態を確認する（下図⑧）
- (8) 「ログアウト」をクリックする（下図⑨）

【ご注意】

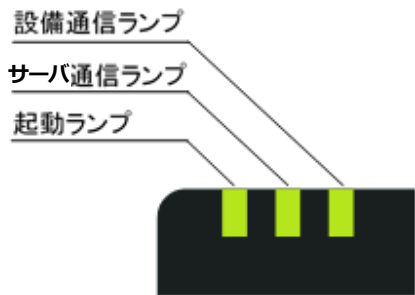
- ・ 設備の登録をしていない場合、設備設定、Wi-SUN 設定、子メータ設定の項目には何も表示されません。
- ・ 蓄電池システムにより型式または製造番号が空白となることがあります
- ・ Wi-SUN 電波強度は計測開始後に確認可能となります。「取扱方法」の「1-3 Wi-SUN 電波強度の確認」(P.37) を参照して Wi-SUN 電波強度が不足していないことを確認してください。Wi-SUN 電波強度が不足している場合は、計測データを正常に取得できません。

5-1 1 EL センサのランプを確認する

EL センサの設定が完了していることを確認するために、以下の手順でランプを確認してください。

- (1) 一度電源を切る
- (2) 再度電源を投入する
- (3) しばらく待ち、EL センサのランプが3つ点灯することを確認する

👉 3つともランプが点灯しない場合は、巻末の弊社問い合わせ先へ連絡してください。



■ EL センサ状態確認表

EL センサの状態	起動ランプ	サーバ通信ランプ	設備通信ランプ
起動中	点灯	消灯	消灯
サーバ通信確立中	点灯	点滅	消灯
サーバ通信確立、 設備通信確立中	点灯	点灯	点滅
正常 (設備、サーバ通信確立)	点灯	点灯	点灯
異常 (EL センサ異常)	消灯	点滅	点滅
	消灯	消灯	点滅
異常 (サーバ通信異常)	点灯	消灯	点灯
異常 (設備通信異常)	点灯	点灯	消灯

設定は以上で終了です。

保守**1 EL センサを交換する****1-1 必要準備物**

以下をご準備ください。

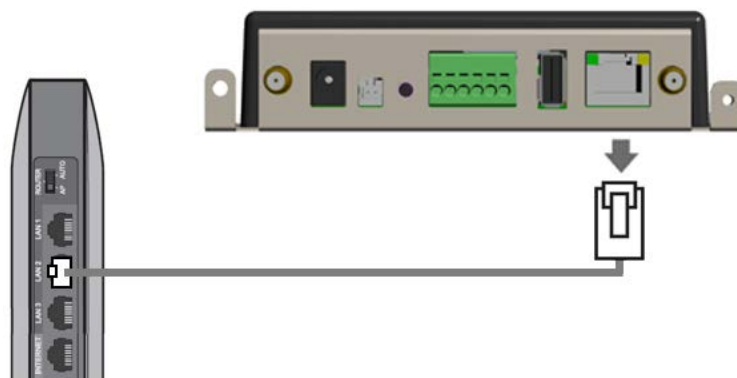
- ・ 設定用 PC (Google Chrome ブラウザが必要)
- ・ 設定用 LAN ケーブル

1-2 機器の交換

(1) 交換前の EL センサから、電源ケーブルの接続を外す



(2) 交換前の EL センサと Wi-Fi ルータの LAN ポート間に接続している、LAN ケーブルの EL センサ側の接続を外す



(3) (2) で外した LAN ケーブルを、交換後の EL センサに接続する

(4) (1) で外した電源ケーブルを、交換後の EL センサに接続する

👉 以降は、「施工手順」章の下記ページを参照して再度 EL センサを設定してください。

- ・ 「4 各機器の配線」(P.19)
- ・ 「5-4 EL センサへログイン」(P.26)から「5-10 EL センサの計測を開始する」(P.31)まで。
- ・ 最後に「5-11 EL センサのランプを確認する」(P.32)を参照して完了確認をしてください。

2 Wi-Fi ルータを交換する

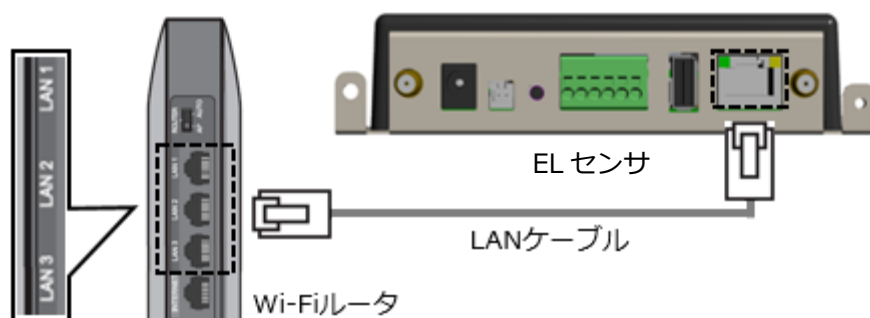
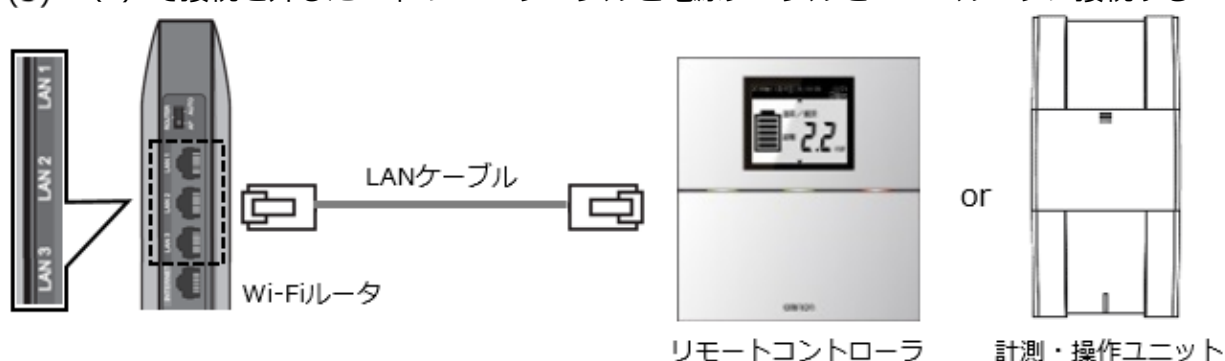
2-1 必要準備物

以下をご準備ください。

- ・設定用 PC
- ・設定用 LAN ケーブル

2-2 機器の交換

- (1) 交換する Wi-Fi ルータから LAN ケーブル 2 本と電源ケーブルの接続を外す
- (2) 新しい Wi-Fi ルータに交換する
- (3) (1) で接続を外した 2 本の LAN ケーブルと電源ケーブルを Wi-Fi ルータに接続する



☞ 以降は、「施工手順」章の下記ページを参照して再度 Wi-Fi ルータを設定してください。

- ・「4 各機器の配線」(P.19)
- ・「5-2 Wi-Fiルータへログイン」(P.24)から「5-3 Snooping 機能の変更」(P.25) まで。
- ・最後に「5-1 1 EL センサのランプを確認する」(P.32)を参照して完了確認をしてください。

3 蓄電池を交換する

3 蓄電池を交換する

3-1 必要準備物

以下をご準備ください。

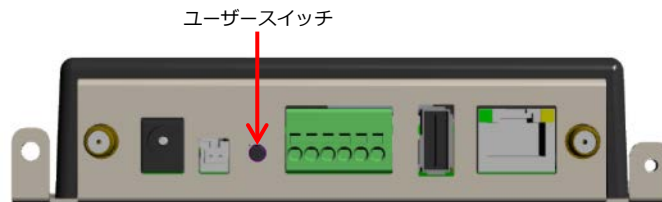
- ・ 設定用 PC (Google Chrome ブラウザが必要)
- ・ 設定用 LAN ケーブル

3-2 機器の交換

- (1) 蓄電システムの施工説明書・取扱説明書を参照の上、蓄電池を交換する
- (2) 「施工手順」章の「4 各機器の配線」(P.19)ページを参照して、各機器を再度配線する
- (3) EL センサを初期化して再起動を行う

【初期化手順】

- ① ユーザースイッチを3回短押しする
- ② 1秒以上空けてユーザースイッチを3回短押しする
- ③ 1秒以上空けてユーザースイッチを3回短押しする
- ④ 3つのランプが数回点滅したのちに EL センサが再起動することを確認する
(①～③の途中で3秒以上の間隔が空いた場合は、状態がクリアとなるのでご注意ください。)



☞ 以降は、「施工手順」章の下記ページを参照して、再度 EL センサを設定してください。

- ・ 「4 各機器の配線」(P.19)
- ・ 「5-4 EL センサへログイン」(P.26)から「5-10 EL センサの計測を開始する」(P.31)まで。
- ・ 最後に「5-11 EL センサのランプを確認する」(P.32)を参照して完了確認をしてください。

取扱方法

1 疎通確認方法

疎通確認の方法を以下に記します。

1-1 EL センサへログイン

EL センサの設定変更をするために、EL センサにログインをしてください。

- (1) ブラウザのアドレスバーに
「192.168.11.100」と入力する
(右図①)
- (2) キーボードの「Enter」キーを押す
- (3) ユーザー名に「user」と入力する
(右図②)
- (4) パスワードに「user」と入力する
(右図③)
- (5) 「ログイン」をクリックする (右図④)



1-2 エコめがねサーバ接続状況の確認

エコめがねサーバへの接続状態を確認します。

- (1) 画面左メニューの「ファームウェア情報画面」をクリックする (下図①)
- (2) 「エコめがね接続確認」ボタンをクリックする (下図②)
- (3) 「エコめがね サーバ接続状態」の表示を確認する (下図③)
 - ・サーバと接続できている場合…………… 「正常」
 - ・サーバと接続できていない場合は…………… 「異常」
 - ・サーバと接続確認中は…………… 「確認中」
 - ・エコめがね未使用の場合は…………… 「未使用」



【ご注意】

- ・ファームウェアおよびモジュールは、通信状況によりサーバ接続状態が「異常」となることがありますが、機能には問題ありません。

1 疎通確認方法

1-3 Wi-SUN 電波強度の確認

Wi-SUN 通信設定画面で設定したスマートメータとの通信状況を確認します。

(1) 画面左メニューの「Wi-SUN 通信設定画面」をクリックする（下図①）

(2) 電波強度の表示を確認する（下図②）

- | | |
|----------------------|-------------------|
| ・ 電波強度に問題がない場合…………… | 電波強度とアンテナアイコンが表示 |
| ・ 電波強度に問題がある場合…………… | 「電波強度が不足しています」と表示 |
| ・ Wi-SUN 未接続の場合…………… | 電波強度とアイコンが空白 |



【ご注意】

- ・ 電波強度に問題がある場合、計測データの欠落が発生します。Wi-SUN 接続を行う場合は必ず十分な電波強度を確保してください。
- ・ Wi-SUN 電波強度は計測開始後に確認可能となります。電波強度の確認の前に「施工手順」の「5-10 EL センサの計測を開始する」(P.31)にて計測開始をしてください。

その他

1 トラブルシューティング

■トラブルシューティング一覧

項目番号	事象	ページ
1-1	EL センサのランプが全点灯している状態にならない	P.39
1-2	EL センサのランプ表示が異常停止（EL センサ異常）を示している	P.41
1-3	EL センサのランプ表示が異常停止（通信異常）を示している	P.42
1-4	Google Chrome ブラウザの設定画面がマニュアルの内容と異なっている	P.43

次ページより各事象のトラブルシューティングを記載しています。

1 トラブルシューティング

1-1 EL センサのランプが全点灯している状態にならない

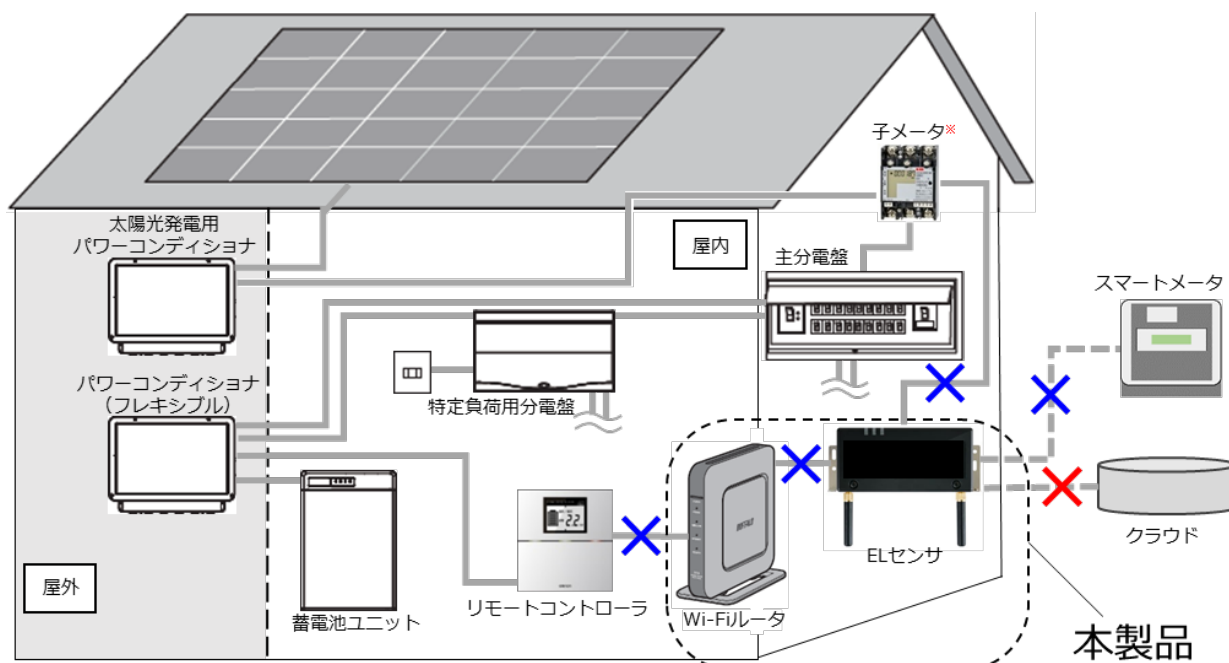
本項では 起動ランプが点灯している状態で、サーバ通信ランプまたは設備通信ランプが点灯しない状態 について記載します。

EL センサの起動ランプが消灯している場合は、「1-2 EL センサのランプ表示が異常停止（EL センサ異常）を示している」「1-3 EL センサのランプ表示が異常停止（通信異常）を示している」項を参照してください。



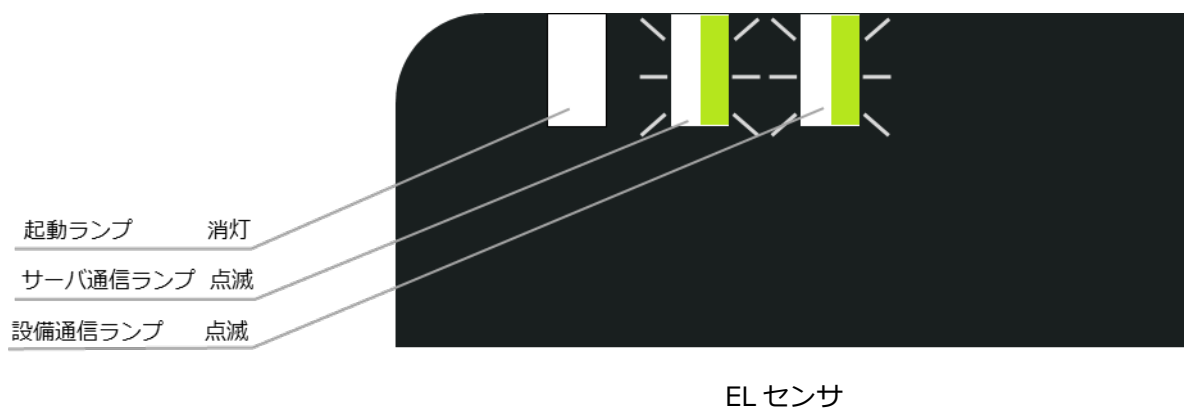
EL センサ




- ・ 起動ランプが点灯かつサーバ通信ランプが消灯の場合
→クラウドとの通信できていないこと（下図赤い×印）を意味します。
- ・ 起動ランプが点灯かつ設備通信ランプの消灯の場合
→スマートメータまたは蓄電システムのいずれかと通信できていないこと（下図青い×印）を意味します。



ランプ状態	要因	対処						
<p>サーバ通信ランプが点滅</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>起動ランプ</th> <th>サーバ通信ランプ</th> <th>設備通信ランプ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>点灯 </td> <td>点滅 </td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	起動ランプ	サーバ通信ランプ	設備通信ランプ	点灯	点滅		サーバ接続との通信確立中	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対処不要です。
起動ランプ	サーバ通信ランプ	設備通信ランプ						
点灯	点滅							
<p>サーバ通信ランプが消灯</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>起動ランプ</th> <th>サーバ通信ランプ</th> <th>設備通信ランプ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>点灯 </td> <td>消灯 </td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	起動ランプ	サーバ通信ランプ	設備通信ランプ	点灯	消灯		サーバ接続不可	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「施工手順」章「5-5 LTE 電波強度の確認」(P.26)を参照してLTE 電波強度を確認してください。 ・ 「取扱方法」章「1-2 エコめがねサーバ接続状況の確認」(P.36)を参照してエコめがねサーバとの接続を確認してください。 ・ EL センサの電源を入れなおしてください。数日経っても改善しない場合は巻末の弊社問い合わせ先へ連絡してください。
起動ランプ	サーバ通信ランプ	設備通信ランプ						
点灯	消灯							
<p>設備通信ランプが点滅</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>起動ランプ</th> <th>サーバ通信ランプ</th> <th>設備通信ランプ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>点灯 </td> <td></td> <td>点滅 </td> </tr> </tbody> </table>	起動ランプ	サーバ通信ランプ	設備通信ランプ	点灯		点滅	スマートメータ、蓄電システム、子メータのいずれかと通信確立中	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対処不要です。
起動ランプ	サーバ通信ランプ	設備通信ランプ						
点灯		点滅						
<p>設備通信ランプが消灯</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>起動ランプ</th> <th>サーバ通信ランプ</th> <th>設備通信ランプ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>点灯 </td> <td></td> <td>消灯 </td> </tr> </tbody> </table>	起動ランプ	サーバ通信ランプ	設備通信ランプ	点灯		消灯	スマートメータ、蓄電システム、子メータのいずれかと通信不可	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「取扱方法」章「1-3 Wi-SUN 電波強度の確認」(P.37)を参照してWi-SUN 電波強度を確認してください。 ・ 蓄電システム、Wi-Fi ルータ、子メータの電源が入っていることを確認してください。電源が入っていない場合は各機器の取扱説明書に従って電源を入れてください。 ・ EL センサのLAN ケーブルが抜けていないか確認してください。LAN ケーブルが抜けている場合は差し直してください。 ・ 蓄電システムのLAN ケーブルが抜けていないか確認してください。LAN ケーブルが抜けている場合は差し直してください。 ・ 蓄電システム、Wi-Fi ルータ、子メータとEL センサの配線を確認してください。断線している場合は配線をやり直してください。 ・ 上記対処方法を試しても改善しない場合は巻末の弊社問合せ先に連絡してください。
起動ランプ	サーバ通信ランプ	設備通信ランプ						
点灯		消灯						
<p>サーバ通信ランプと設備通信ランプが両方消灯</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>起動ランプ</th> <th>サーバ通信ランプ</th> <th>設備通信ランプ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>点灯 </td> <td>消灯 </td> <td>消灯 </td> </tr> </tbody> </table>	起動ランプ	サーバ通信ランプ	設備通信ランプ	点灯	消灯	消灯	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設定未完了 ・ サーバ接続不可かつスマートメータ、蓄電システム、子メータのいずれかと通信不可 	<ul style="list-style-type: none"> ・ EL センサの設定が完了しているか確認してください。「施工手順」章「5-10 EL センサの計測を開始する」(P.31)の操作を完了しないと設定未完了の状態となります。 ・ EL センサの設定完了後もこのランプ状態となる場合は、サーバ通信ランプが消灯している場合の対処、および設備通信ランプが消灯している場合の対処を実施してください。
起動ランプ	サーバ通信ランプ	設備通信ランプ						
点灯	消灯	消灯						

1-2 EL センサのランプ表示が異常停止（EL センサ異常）を示している



EL センサ状態	起動ランプ	サーバ通信ランプ	設備通信ランプ
異常停止（EL センサ異常）	消灯 	点滅 	点滅 




■ 対処手順

- (1) 電源ケーブルを抜き差しして、EL センサを再起動する
- (2) 再起動後のランプ表示を確認し、改善したことを確認する

👉 24 時間経っても改善しない場合は、EL センサの故障の可能性があります。
巻末の弊社問い合わせ先へ連絡してください。

1-3 EL センサのランプ表示が異常停止（通信異常）を示している



EL センサ状態	起動ランプ	サーバ通信ランプ	設備通信ランプ
異常停止（通信異常）	消灯 	消灯 	点滅 

■ 対処手順

- (1) EL センサの LAN ポートのランプが点滅・点灯していることを確認する
- (2) リモコン設定器に異常表示が出ていないかを確認する
- (3) 電源ケーブルを抜き差しして、EL センサを再起動する
- (4) 再起動後のランプ表示を確認し、改善したことを確認する

☞ 24 時間経っても改善しない場合は、EL センサの故障の可能性があります。
巻末の弊社問い合わせ先へ連絡してください。

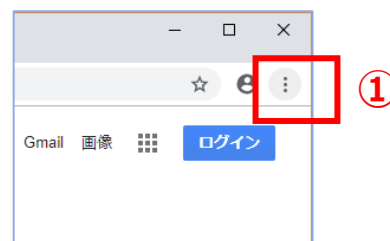
1 トラブルシューティング

1-4 Google Chrome ブラウザの設定画面がマニュアルの内容と異なっている

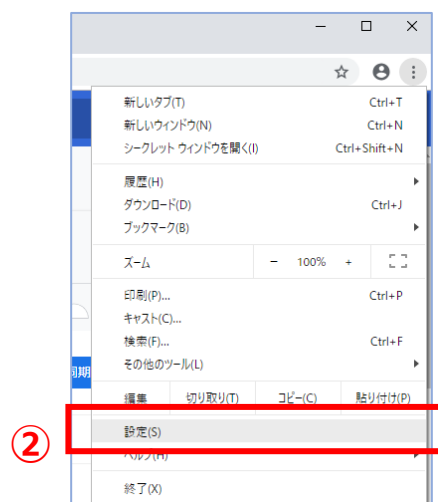
Google Chrome ブラウザにて一時保存されている閲覧履歴データが影響している可能性があります。
Google Chrome ブラウザの閲覧履歴データの消去を行ってください。

■ 閲覧履歴データの消去手順

- (1) ブラウザ右上にある、「Google Chrome の設定」ボタンをクリックする (右図①)




- (2) 「設定」をクリックする (右図②)



- (3) 「設定」タブが表示されたら、最下にある「詳細設定を表示」をクリックする (右図③)



- (4) 「プライバシー」セクションで
「閲覧履歴データを消去する」をクリック
する（右図④）
→「閲覧履歴データを消去する」ポップア
ップが表示されます



閲覧履歴データを消去する
閲覧履歴、Cookie、キャッシュなどを削除します

- (5) 「データを消去」ボタンをクリックする
（右図⑤）
→閲覧履歴データが消去されます



- (6) 「施工手順」章の「5-4 EL センサへログイン」（P.26）から、再度設定を行う

2 メニュー遷移

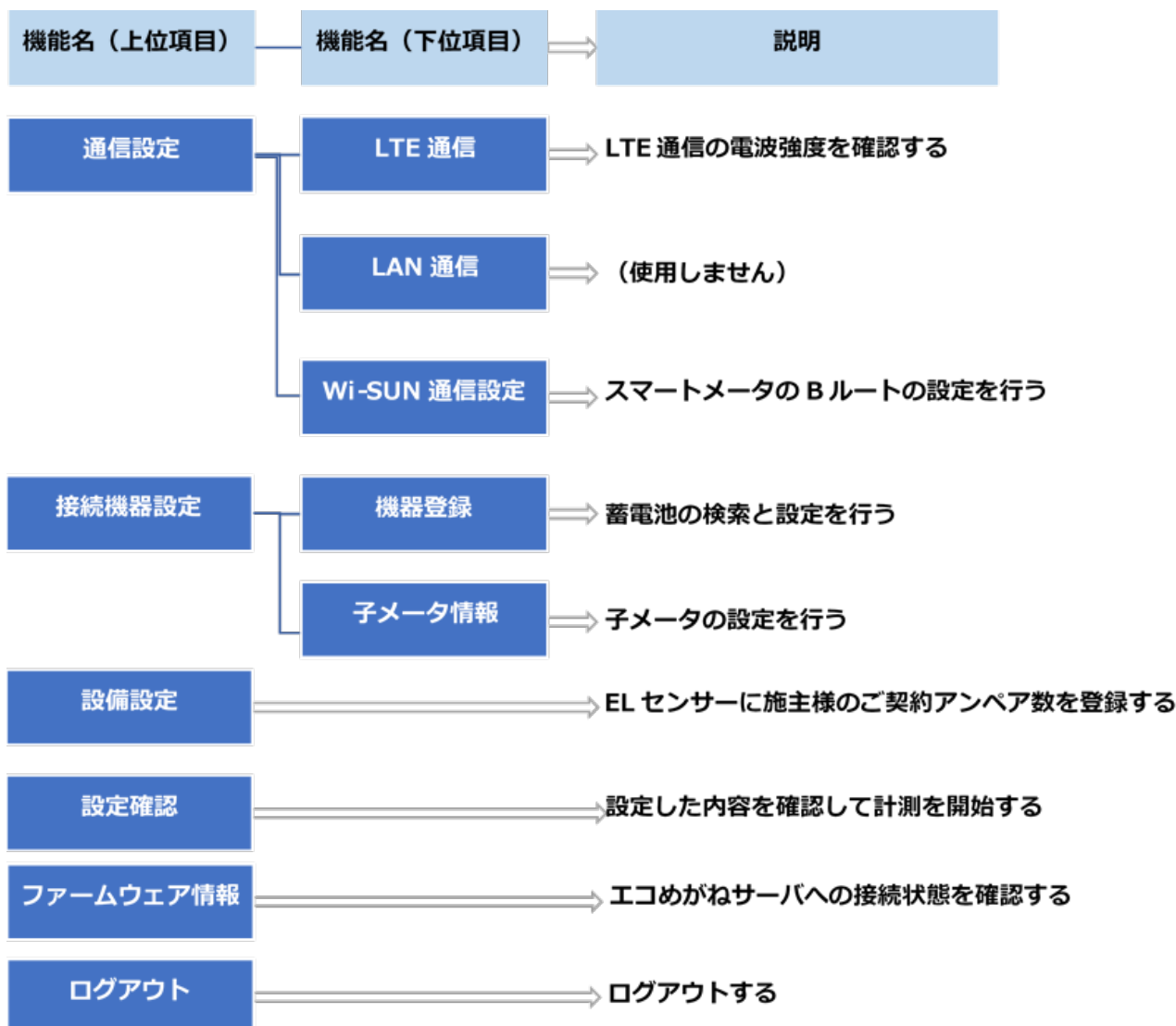
2 メニュー遷移

EL センサの端末情報や通信などの設定を行う WEB 画面について、メニュー遷移を記します。

■ WEB 画面表示例（設備設定の場合）



■ メニュー遷移図



販売元



NTT SMILE ENERGY

株式会社 NTT スマイルエナジー

〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜 2 丁目 6 番 18 号 淀屋橋スクエア 4F

06-6221-1234

お問い合わせ support@nttse.com

施工に関する
ご質問・ご相談は…

エコめがね
サービス
ヘルプデスク

06-6221-0222

受付時間

10:00 ~ 17:30

※年未年始・夏季休暇等の当社指定休日は除きます。